



## 会長就任にあたって ～社会福祉士会の発展に向けて～

一般社団法人 兵庫県社会福祉士会 会長 岡本和久

この度の役員改選にともない、兵庫県社会福祉士会の会長に就任することとなりました。みなさま、どうぞよろしく申し上げます。社会福祉士会の発展を通じ、県民のみなさまの福祉の向上に、より一層尽力してまいります。

1993年7月に設立された本会は、日本社会福祉士会の兵庫県支部として、当時100名にも満たない小さな専門職団体から出発しました。これまでの20年あまり、本会は、ばあとなあ兵庫による成年後見のほか、高齢者、障がい者、子ども、高齢者虐待、低所得者、ホームレス、刑余者など、地域での様々な福祉課題を有する方々に対し、権利擁護や自立支援など専門的な支援を行ってまいりました。そして、県民の福祉相談の総合窓口「ここねっと兵庫」及び、地域での身近な相談活動「まちかど相談会」などを展開してきました。

また、2009年4月には法人格を取得し、一般社団法人兵庫県社会福祉士会として、新たに出発することとなりました。

近年、私たち社会福祉士をめぐる状況は大きく変わってきています。地域包括支援センターにおける社会福祉士をはじめ、教育現場におけるスクールソーシャルワーカー、刑務所等に更生支援のため社会福祉士の配置などが進められています。また、来年度から始まる生活困窮者（経済的に困窮するおそれのある低所得者や地域で孤立している方々等）への自立支援にも社会福祉士および社会福祉士会に対する社会や県民のみなさまが寄せる期待はますます大きくなっていると感じています。

本会は、これらのみなさまの期待や要請に応えていかなければなりません。社会福祉士は個人の責務として、自己研さんに努め、その専門性を向上させるとともに、専門的技術に基づいたソーシャルワーク実践を行う必要があります。そして、本会はその社会福祉士の専門性向上のための専門研修を行うとともに、各種専門団体や機関、行政等との連携をより一層図ってまいります。

少子高齢社会など、今日の県民のみなさまの生活を取り巻く現状には、福祉課題が山積していますが、みなさまからの期待や要請に応え、信頼される職能団体を目指します。

これからも県民のみなさまからのご意見やご協力をいただきながら、社会福祉の増進に邁進する所存です。みなさまのご支援を賜りますようお願い申し上げます。

特集

兵庫県社会福祉士会委員会インタビュー Vol.2 ..... 2

社会福祉士インタビュー Vol.2 ..... 3

兵庫県社会福祉士会 2013-2014年度 主な行事報告 ..... 4

社会福祉士とは ..... 6

社会福祉士会の会員になろう！ ..... 7



## 相談委員会活動内容

## ☆福祉なんでも相談

- ・毎月第2土曜日 予約不要の電話相談
- ・介護の日、ソーシャルワーカーデー等  
福祉系イベントでの無料相談

## ☆相談に関するスキルアップの勉強会



## 相談援助とは

生活上の困難を抱えた人の話を聞き、健やかな毎日を送る方法を一緒に考える。社会福祉の専門的価値・知識・技術を活用し、その人が主体的に自らの生活を送ることができるように支える。

## 社会福祉士の相談業務

具体的には、地域や施設で生活している人の相談に応じ、課題解決のために必要な助言や利用可能な制度・サービスの紹介・利用調整、関係者間の連絡など行う。

## 相談委員会の活動で活かせる社会福祉士の専門性

## Q1 相談委員会の委員は普段どんな仕事をしていますか？

A1 特別養護老人ホーム、障害者施設、市役所や地域などで、何らかの困難を抱えた方の生活を支える仕事をしています。

高齢者分野・障害者分野・児童分野等、様々な分野で働いているので、それぞれの専門性を活かして役割分担をしながら、相談活動をしています。

## Q2 福祉なんでも相談って？

A2 毎月第2土曜日に予約不要の電話相談をしています。

また、地域の祭りや、社会福祉関係のイベント等に「福祉なんでも相談」として相談ブースを設置し、相談員を派遣しています。

社会福祉士が業務として相談を受ける場合は「制度やサービス等を利用することも含め、解決策を明確にしていく」というスタンスで利用者に関わることが多いのですが、福祉なんでも相談では「何に困っているのかを探す」ことから始まります。

それは「困っているけど、どこに相談に行けば良いかわからない。困りごとを抱えているがどうしたら良いかわからない」という人の相談が多いからです。

福祉なんでも相談は、そのような困りごとを持った人の「最初の相談窓口」となります。

そして、話をゆっくり聴き「困っていることの原因は何なのか」を一緒に整理していきます。

その結果、必要があればそれぞれの困りごとに対して、適切な相談窓口を紹介します。

## Q3 具体的にどんな相談がありますか？

A3 生活保護に関する相談：大人になって発達障害の診断を受けた方の相談・特定疾患や難病を抱えた方の相談等

【例】 相談▷ 単身での生活保護受給者が結婚などで2人世帯になった時に支給額がどうなるのか？

傾聴▷ 生活スタイルが変わったとしても、同じように保護を受け続けられると考えている人が多い。支給額に関して、不安が大きい。

助言▷ 話を十分に聞いた後、行政の窓口を案内。



## 社会福祉士会における相談委員会の役割～社会福祉士の専門性～



相談委員会  
委員長 中村 栄子さん

### ☆相談委員会は、社会福祉士会の活動の要☆

相談業務は社会福祉士の原点です。相談者は困っていることを思いのままに話します。その思いを聴きながら「何について困っているのか」を整理します。そして、課題を明らかにし、相談者にとって必要な支援を一緒に考えます。必要に応じてその人の困っていることを解決する相談先を紹介します。

この活動は、まさにソーシャルワークであり、社会福祉士としての専門性が活かせる活動です。

### ☆「聞く」ではなく「聴く」ということ☆

相談委員会の活動を通して「色々な聴き方」ができるようになります。相談者の話を決して否定はせず、まずはすべてを受け止めることが、耳を傾ける＝傾聴という技術です。私たち社会福祉士が傾聴することで、相談者は「受け止めてくれている」と感じることができます。私たちは「全部、聴こう」という姿勢で活動しています。

### ☆社会福祉の仕事を通じてきた原点☆

福祉の仕事に関心を持ったのは、近所の子どもが継母から虐待を受け児童養護施設に入所したという経緯を目の当たりにしたことでした。「弱い人に何かしなければいけない」という気持ちからのスタートでした。

大阪の養護老人ホームの寮母として働きました。当時は、8畳一間の4人部屋に高齢の方が入所していました。毎日入所者の話を聴く、相談を聴くことを繰り返してきました。『話を聴くこと＝相談を聴くこと』は福祉の原点だと思っています。



### ☆委員会の今後の方向性☆

相談援助業務とは、社会福祉士の原点ともいえるものであり、相談委員会は、まさに社会福祉士が持つ専門性を活かすことができる場です。

それぞれの委員がその専門性の向上を図ることで、より質の高い支援を行うことができ、ひいては社会福祉士の価値を高めていけるような活動機会としていくことが相談委員会の役割であると考えます。



【interviewer】

広報委員会



【次回 interview】

国家試験対策委員会

## 2013-2014年度 主な行事報告

### 2013年2月2・3日 第20回 近畿ブロック研究・研修大会 『地方分権社会における社会福祉の姿～地域に根ざした社会福祉のプロとして～』

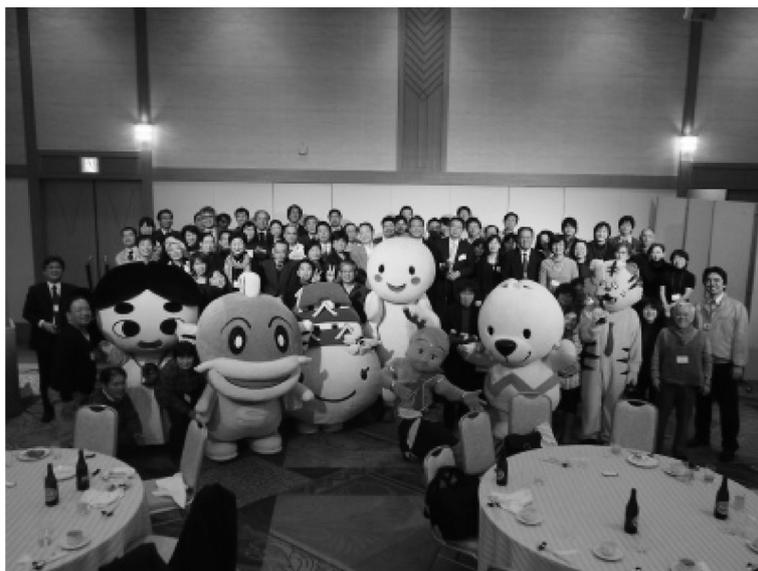
神戸市のシーサイドホテル舞子ビラ神戸にて、「近畿ブロック研究・研修大会」が開催され、約200名の参加がありました。

本大会は地域分権がクローズアップされ大きく国の形態が変わりつつある今、地域に根差し、地域社会の様々な不安や課題解決に向けての実践を日々積み重ねている社会福祉士の姿を見つめなおす機会として開催されました。

シンポジウムと講演に加え、各会員が日々の実践を検証した研究・実践報告を通して、社会福祉士として、どのように地域社会へ責任を果たしていくべきかを考えていく場としました。

この2日間を通して感じたことは、近畿圏の社会福祉士が一堂に会する機会はそう多くありません。その中で、研修を通して普段知りえない会員仲間の様々な活躍を知ることができたり、各府県の社会福祉活動に関する状況を知ることができたり、参加者にとっては、参加するだけで非常に有益な情報を得ることができ、次の日以降、自分も頑張ろうという気持ちにさせてくれる研修会であると思いました。

ここで知り合った仲間とまた来年、この近畿ブロック大会で再会できることを楽しみに出来るというのもこの研修会の特徴かと思えます。



懇親会での記念撮影

### 2013年11月16日 兵庫県社会福祉セミナーin尼崎

尼崎市立すこやかプラザにおいて開催され、100名近くの参加がありました。

第1部：岩間 伸之氏（大阪市立大学大学院教授）

生活困窮者支援が問うもの～地域における総合相談の展開に向けて～

第2部：北野 誠一氏（NPO法人おおさか地域生活支援ネットワーク理事長）

障害者総合支援法で障害者の福祉は良くなるのか

第3部：吉田 太一氏（有限会社キーパーズ代表取締役）

“孤立死” あなたは大丈夫ですか？～無縁社会からの警鐘～



熱心に講義を聞き入る参加者

3題ともタイムリーで講師陣の話も分かりやすく、興味深く聞くことが出来ました。今日の少子高齢化の進展と地縁・血縁の瓦解等による社会構造の変化、社会的に孤立した人たちの顕在化、制度の挟間に位置する新しい生活課題の出現、厳しい経済状況下における就労支援のニーズの増大等が複雑に関係しているのは、どの分野も共通だといえます。社会福祉を実践するものとして、社会構造や社会制度の変化に伴って変わりゆくニーズに応えること、それでもなお変わらない社会福祉やソーシャルワークの理念を追求することが同時に求められます。社会福祉士は今、理念をかたちにすべき時ではないでしょうか。

## 2014年4月13日 社会福祉士国家試験の合格祝賀会

ANAクラウンプラザホテル神戸の36階のイタリアンレストランLevel36にて、社会福祉士国家試験の合格祝賀会を開催しました。

この祝賀会は、本会の社会福祉士受験対策講座を受講され、合格された方を対象として毎年開催しています。

今年は、受験番号確認調査にご協力をいただいた方の中から、16名の合格者の方にご出席いただきました。

本会からは、国家試験対策委員8名の11名。総勢27名で開催いたしました。

合格者の方は、現在も様々な職場で活躍されている方ばかりで、改めて社会福祉士が様々な場面で必要とされ、そのための資格として認知されていることが分かりました。

合格者の方からは、「この場に来て良かった」「社会福祉士会や社会福祉士のことがよくわかった」などの声が聞かれ、祝賀会は盛会の内に終了しました。

また、出席者からは、社会福祉士会に入会するという言葉も聞かれ、入会促進事業の一環としてその意義が認められました。

来年も開催できるように本年度も受験対策講座をがんばっていききたいと思います。



# 社会福祉士とは

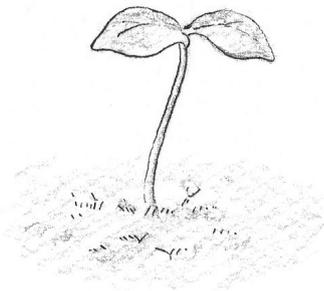
## ●社会福祉士は、みなさんの生活を、支え、守ることを目指しています。

例えば、病気、障がい、生活資金、悪質な詐欺、子育て、災害…。私たちは生きていく上で様々な困難や危機に出会います。そのような時、みなさんの生活を「ささえる」法律、制度、地域にあるサービス、必要となる情報などの専門的な知識と支援が必要になります。適切な助言をし、生活を「ささえる」チカラになることが、私たち社会福祉士の仕事です。

## ●社会福祉士は、みなさんの希望を尊重し、家庭環境、生活状況や心身の状態などに配慮しながら、みなさんにとって最も良い方法で支援します。

「社会福祉士とは、社会福祉士の名称を用いて、専門的知識及び技術をもつて、身体上若しくは精神上的の障害があること又は環境上の理由により日常生活を営むのに支障がある者の福祉に関する相談に応じ、助言、指導、福祉サービスを提供する者又は医師その他の保健医療サービスを提供する者その他の関係者との連絡及び調整その他の援助を行うことを業とする者」

「社会福祉士及び介護福祉士法」第二条(定義)より



### 学校

スクールソーシャルワーカーとして、教育機関に所属し、学校、家庭、地域のネットワークを通して子どもたちの支援を行っています。

### 独立型社会福祉士事務所

まちかどのソーシャルワーカーとして事務所を開設し、県民、事業所等からの相談に対応しています。



### 成年後見人として

高齢の方や障害のある方の成年後見人として、財産管理や福祉サービスの利用の支援をしています。

## 社会福祉士は、 ご存知ですか？

実はみなさんのすぐそばにいます。  
私たちは福祉の相談や支



# 社会福祉士会の会員になろう!

社会福祉士の資格取得は専門職としてのスタートラインです。資格取得後も自己研鑽をつむことが重要です。

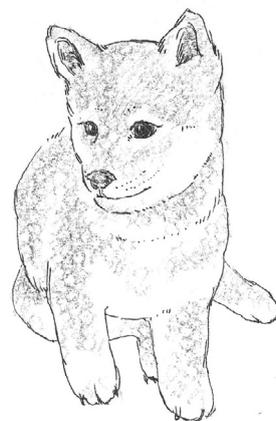
社会福祉士会では、研究誌『社会福祉士』への投稿や、研修会・大会等への参加など、スキルアップの機会が豊富に得られます。

また、日本社会福祉士会ニュースや兵庫県社会福祉士会機関誌などを通じて、福祉分野の様々な情報や、各地で活躍する社会福祉士の実践を知ることができます。

一人一人の力は小さくても集まれば大きな力になります。会員それぞれの抱える多様な問題に対して、会全体で取り組むことで新しい福祉の在り方を見出すことができます。みなさんも会の活動を通して、多岐にわたる分野で活躍している“社会福祉士”のネットワークに参加してください。

## 医療機関

医療機関で治療を受ける際、医療保険や医療費の説明をしたり、不安を受け止めるお手伝いをしています。



## 福祉施設等

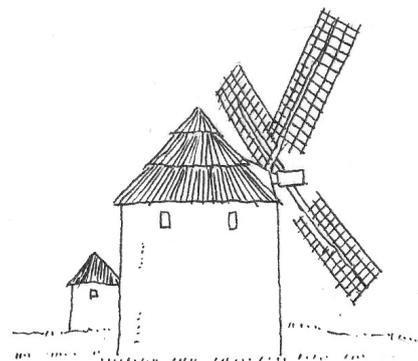
子どもたち、障がいのある方、高齢者の方等が生活している福祉施設での生活支援や、施設から出て地域で生活するための支援をしています。

## 地域包括支援センター

介護で困ったことがあれば、総合的な相談を受けたり、介護保険の手続きのお手伝いをします。

## 市町や社会福祉協議会の福祉相談窓口

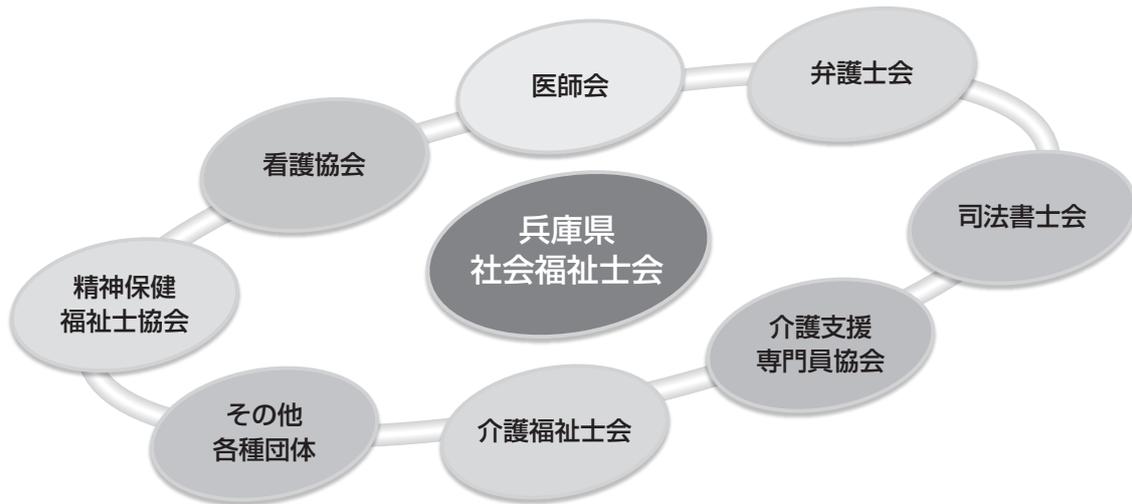
市町や社会福祉協議会の福祉相談窓口にて、お話をしっかり聞いて最も適した福祉サービスを紹介しています。



どこにいるか、  
ですか?

近く身近にいます。  
支援の仕事をしています。

よりよい支援のために、県内他の専門職団体とも連携・協力しています！



## ■兵庫県社会福祉士会の事業内容■

### 事業活動

- \* 社会福祉に関する情報提供及び相談事業
- \* 権利擁護に関する相談事業
- \* 成年後見・後見監督に関する事業
- \* 社会福祉士等の養成支援に関する事業
- \* 地域包括支援センターへの支援に関する事業
- \* 社会福祉従業者研修に関する事業
- \* 生活困窮者支援に関する事業
- \* 児童虐待防止・子育て支援等子ども家庭支援に関する事業
- \* 福祉サービスの質の向上のための評価に関する事業
- \* 社会福祉及び社会福祉士に関する調査研究事業
- \* 県・市町村の福祉計画への参画・提言
- \* その他、この法人の目的を達成するために必要な事業

### 圏域によるブロック活動

- \* 神戸ブロック \* 阪神ブロック \* 東播ブロック
- \* 淡路ブロック \* 西はりまブロック
- \* 但馬ブロック \* 丹波ブロック

### 委員会活動

- \* 生涯研修センター
- \* 福祉相談センター「ここねっと兵庫」
- \* 研修委員会
- \* 調査研究委員会
- \* 国家試験対策委員会
- \* 相談委員会
- \* ケアマネジメント研究委員会
- \* 高齢者虐待対応委員会
- \* ぱあとなあ兵庫
- \* 地域包括支援センター支援委員会
- \* こども家庭支援委員会
- \* 実習教育支援委員会
- \* 障がい福祉委員会
- \* 更生支援委員会
- \* 独立型社会福祉士支援委員会
- \* 地域移行支援委員会
- \* 広報委員会

■現在の会員数 1,430 名 (2014 年 7 月末現在)

## 一般社団法人 兵庫県社会福祉士会

〒651-0062

神戸市中央区坂口通2-1-1

兵庫県福祉センター5F

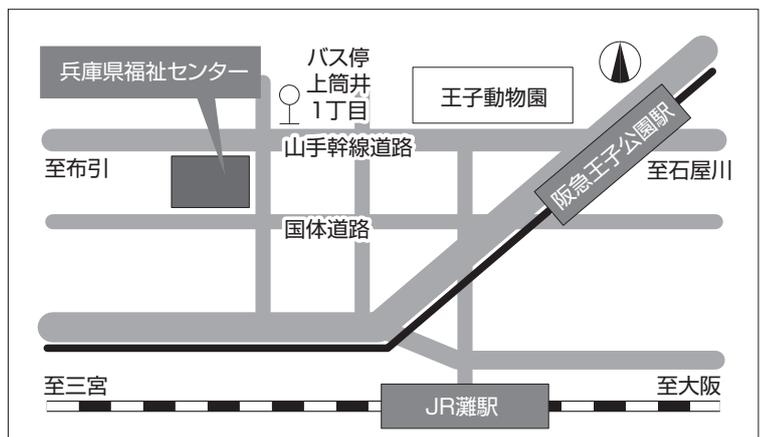
電話：078-265-1330

FAX：078-265-1340

※月～金曜日の9:00～17:00の間で対応させていただきます。

ホームページアドレス <http://www.hacsw.or.jp/>

メールアドレス [syadanhyogo@hacsw.or.jp](mailto:syadanhyogo@hacsw.or.jp)



●阪急王子公園駅下車歩10分 ●JR灘駅下車歩10分

●市バス90・92系統 上筒井1丁目停歩1分